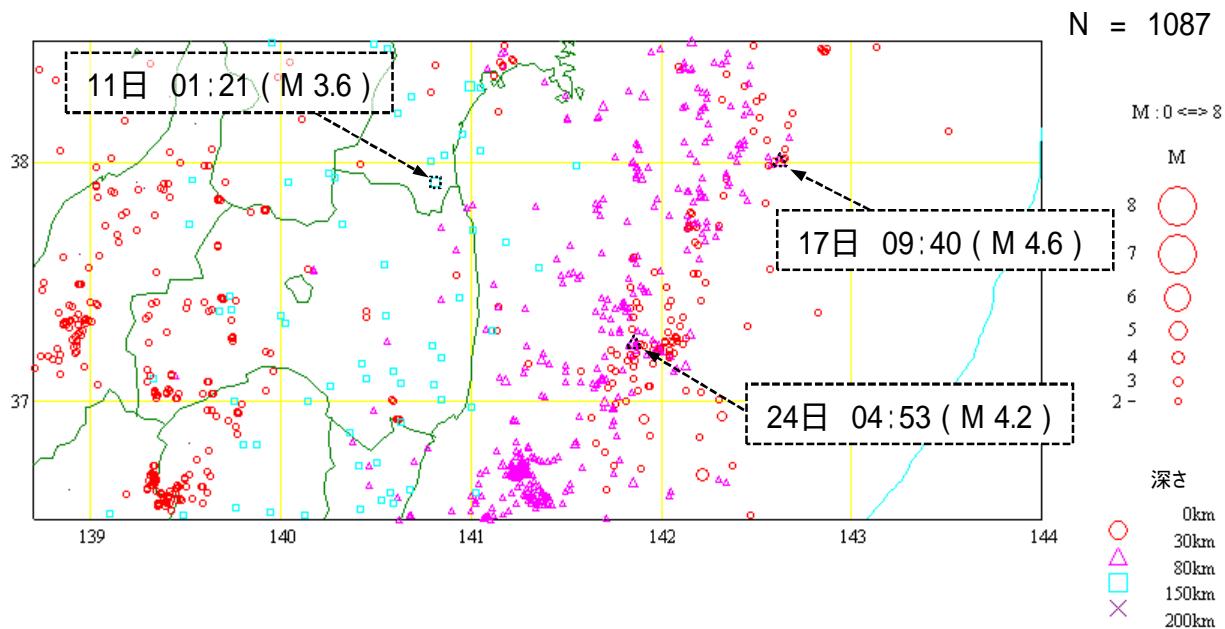


# 福島県とその周辺の地震活動図

2009年3月1日 ~ 2009年3月31日

福島地方気象台

## 【震央分布図】



福島県及びその周辺を震央とし、概況で触れた地震を矢印で示した。

## 【概況】

3月に図領域内を震源とする地震は1087回発生し、福島県内で震度1以上を観測した地震は6回、最大震度は2であった。

11日01時21分に宮城県南部の深さ85kmでM3.6の地震が発生し、福島県で震度2を観測したほか、宮城県及び栃木県で震度1を観測した。県内では、二本松市、田村市及び葛尾村で震度2を観測したほか、浜通り及び中通りで震度1を観測した。この地震は太平洋プレート内部(二重地震面の上面)で発生した地震である。

17日09時40分に宮城県沖の深さ34kmでM4.6の地震が発生し、福島県、宮城県及び岩手県で震度1を観測した。

24日04時53分に福島県沖の深さ39kmでM4.2の地震が発生し、福島県、宮城県で震度1を観測した。県内では、浜通り及び中通りで震度1を観測した。

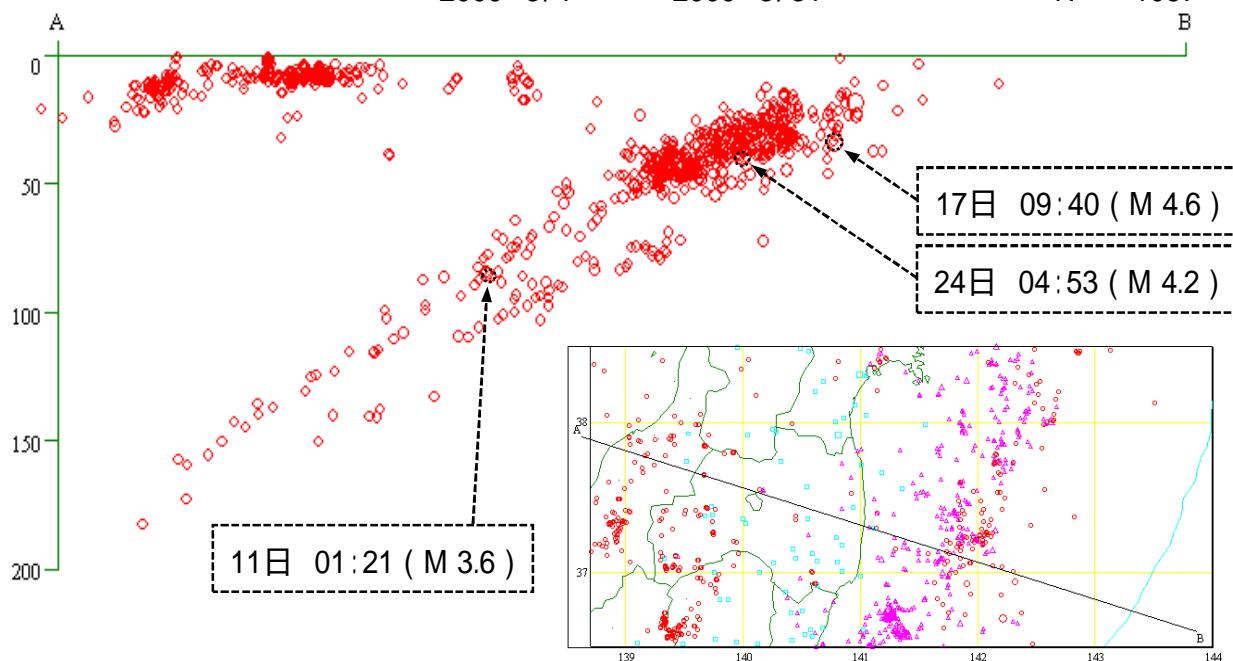
福島県の各地の震度の詳細は、別紙の「福島県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

なお、震源要素等は後日修正されることがある。

## 【断面図】

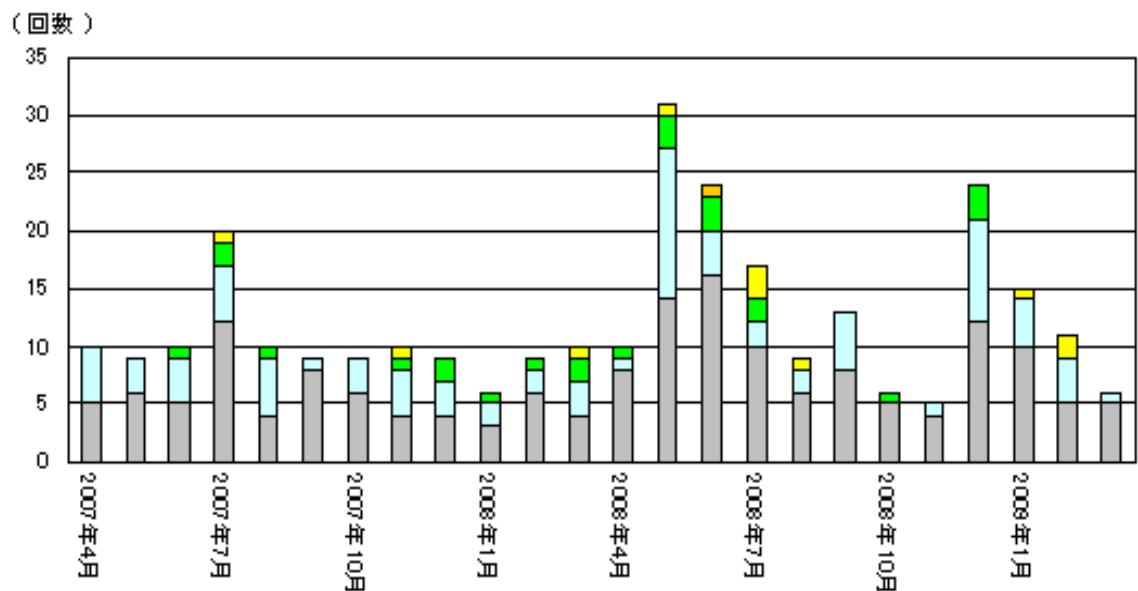
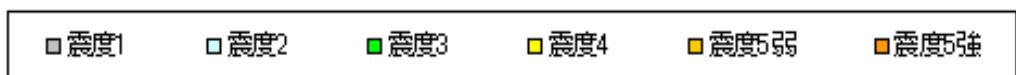
2009 3/1 2009 3/31

N = 1087



福島県及びその周辺を震央とし、概況で触れた地震を矢印で示した。断面図のA-Bは右下の図の直線A - Bに対応する。

## 【福島県内で震度1以上を観測した地震の月別・最大震度別回数】 (2007年4月～2009年3月)



## 福島県で震度1以上を観測した地震の表

期間 2009年3月1日～2009年3月31日

発震時 月日時分	震央名	北緯	東経	深さ	規模
3.4 19:04	茨城県沖	35° 53.6'	140° 51.1'	39km	M4.2
福島県	震度 1	いわき市三和町			
3.8 22:34	宮城県中部	38° 18.8'	140° 59.4'	86km	M3.8
福島県	震度 1	相馬市中村*			
3.11 01:21	宮城県南部	37° 55.1'	140° 48.7'	85km	M3.6
福島県	震度 2	二本松市針道*	田村市大越町*	葛尾村落合関下*	
	震度 1	郡山市朝日	須賀川市八幡山*	川俣町五百田*	
		天栄村下松本*	玉川村小高*	平田村永田*	
		田村市船引町	田村市都路町*	田村市常葉町*	
		いわき市三和町	相馬市中村*		
		福島広野町下北迫大谷地原*		楢葉町北田*	
		川内村下川内	川内村上川内早渡*	大熊町下野上*	
		浪江町幾世橋	葛尾村落合落合*		
		南相馬市原町区高見町*		南相馬市鹿島区*	
3.17 09:40	宮城県沖	38° 00.5'	142° 37.5'	34km	M4.6
福島県	震度 1	川俣町五百田*	田村市都路町*	楢葉町北田*	
		浪江町幾世橋	葛尾村落合関下*	猪苗代町千代田*	
3.24 04:53	福島県沖	37° 14.9'	141° 51.2'	39km	M4.2
福島県	震度 1	白河市新白河*	玉川村小高*	田村市都路町*	
		本宮市糠沢*	いわき市三和町	楢葉町北田*	
		浪江町幾世橋	葛尾村落合関下*		
3.25 15:26	茨城県南部	36° 01.1'	139° 56.7'	44km	M4.0
福島県	震度 1	泉崎村泉崎*			

(注) 使用した震源要素等は暫定値であり、後日変更されることがある。

各地の震度は福島県のみを示し、\*は地方公共団体または独立行政法人防災科学技術研究所の観測点である。

この資料の震源要素は、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人（産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、海洋研究開発機構）、国土地理院、神奈川県温泉地学研究所、東京都、青森県、静岡県、横浜市及び気象庁のデータを基に作成している。

## 防災メモ

### 吾妻山の火山ガスについて

春の行楽シーズンとなり、吾妻の山並みに沿って走る磐梯吾妻スカイラインも開通しましたが、吾妻山の火山活動の様子が気になるところです。今回は吾妻山の状況について、Q & A 形式で触れてみることにします。

Q 吾妻山の火山活動状況について教えてください。

A 吾妻山大穴火口では昨年11月から新たな噴気と火山ガスの噴出など、噴気活動はやや活発な状態が続いているが、今のところ（4月末現在）地震活動などに特段の変化はありません。

Q 吾妻山ではどのようなガスが噴出しているのですか？

A これまでの噴気孔からの火山ガスとして硫化水素は検出されていましたが、今回の噴気孔からの火山ガスには高濃度の二酸化硫黄も含まれていることが確認されました。

Q 硫化水素とはどのようなガスですか？

A 硫化水素ガスは、腐敗した卵のような臭いを持つ有毒なガスです。空気よりやや重く、窪地などに溜まっていることがあります。濃度が高くなると臭気麻痺により臭いを検知できなくなるため、危険なガスです。

Q 二酸化硫黄とはどのようなガスですか？

A 無色で刺激臭があり目やのどを刺激します。亜硫酸ガスともよばれます。特にぜんそく等呼吸器や心臓に持病のある方は、低濃度のガスでも発作を誘発し、症状を悪化させるため注意が必要です。

また、二酸化硫黄は高温のガスとして噴出するため浮力があります。この浮力で上昇して空気と混ざり、風に流されて移動するため、噴気孔の風下側では注意が必要です。

Q どのような点に注意すればよいですか？

A 主に次の点に注意してください。

- ・火山ガスは風下に流れるため、火山ガスが出ている大穴火口の風下側では注意が必要です。風が弱い場合は低い窪地や谷筋に火山ガスがたまる場合があるので注意が必要です。
- ・刺激臭を感じたり、目やのどに痛みを感じた場合は立ち止まらず、ぬれたタオルで口・鼻を覆い、すぐにその場から離れるようにしてください。
- ・浄土平は大穴火口より標高の低い東側にあり、一般的に西よりの風が吹けば火山ガスの濃度が高くなるおそれがあります。

Q 現在の浄土平付近の気象状況を確認するにはどうすればよいですか？

A 吾妻山の近くにアメダスの鷲倉観測点があり、気象台ホームページなどで確認できます。

また、風向の予想などは気象台に問い合わせ頂ければお答えします。

なお、現地の天気や状況等は下記にお問い合わせください。

・浄土平ビジターセンター

ホームページ <http://www.bes.or.jp/joudo/vc/>

・浄土平レストハウス

ホームページ <http://www.tif.ne.jp/soumu/zyodo.htm#osirase>

・磐梯吾妻スカイライン（福島県道路公社）

ホームページ <http://www.dorokosha-fukushima.or.jp/>

Q 吾妻山の火山活動状況についての資料はありますか？

A 仙台管区気象台の火山・監視情報センターが毎月発表する火山活動解説資料を福島地方気象台ホームページのお知らせに掲載しています。

<http://www.sendai-jma.go.jp/tidai/fukushima/>

また、気象庁ホームページで、吾妻山の監視カメラの画像を見ることができます。

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/vo/32.php>

このページのメニューから「吾妻山 吾妻学習センター分館」を選んでください。



平成21年3月の火山活動解説資料より